

当該地区の現況について

(1) 地区の概況

まちづくり推進地区は、国分寺街道及び国3・4・11号線に沿った南北約1km、面積19.6haの地区です。

国分寺街道沿道に店舗、事務所等が立地していますが、歩行空間や自転車の走行空間が狭く非常に危険です。

新設の国3・4・11号線の計画地周辺は住宅地で、付近には農地も残っていますが、道が狭く、低層建物が建て込んでいます。

①南町二丁目交差点



②住商併用建物が建ち並ぶ



③一里塚第二交差点



④歩行空間が狭い



⑤元町用水



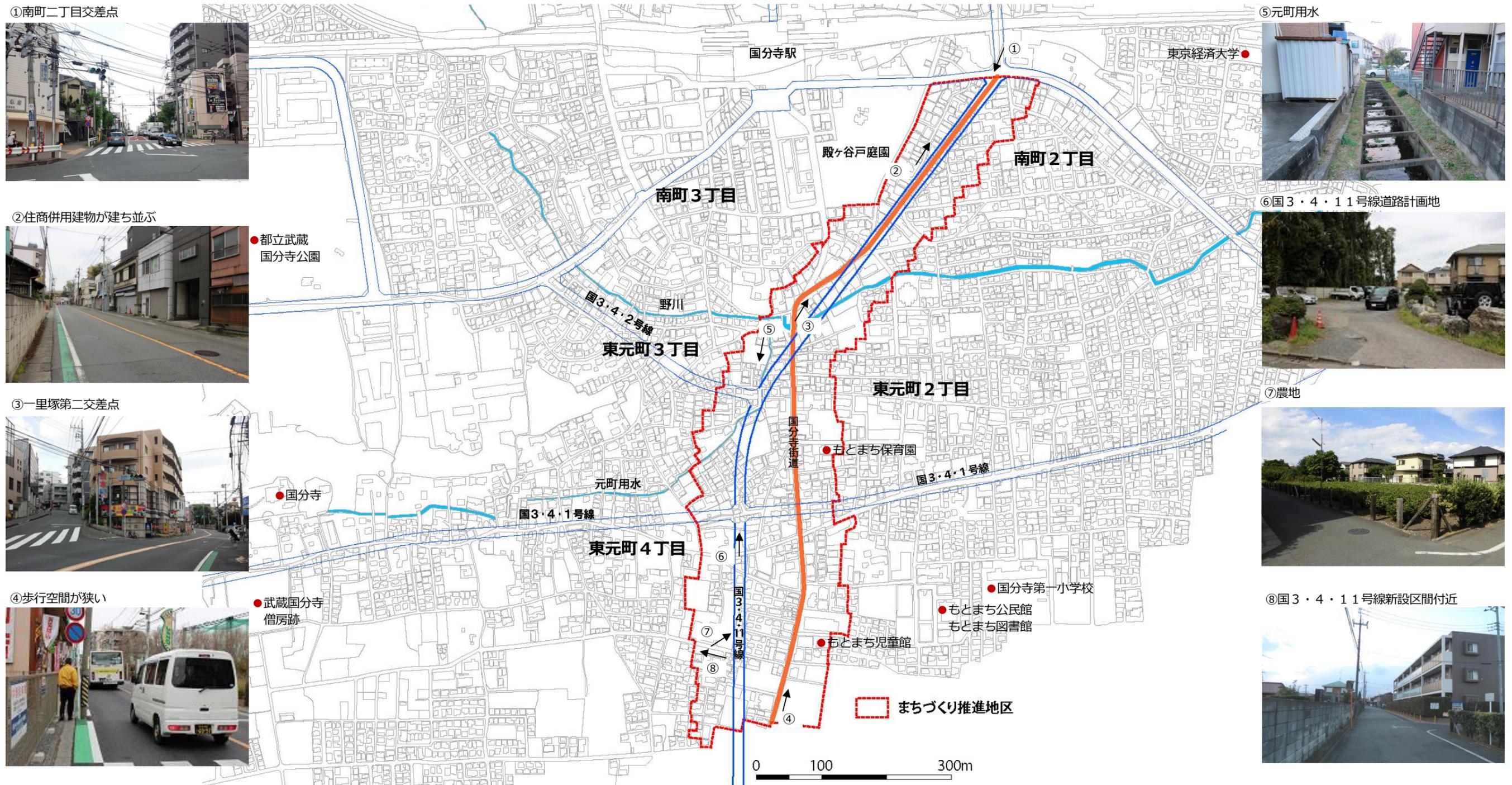
⑥国3・4・11号線道路計画地



⑦農地



⑧国3・4・11号線新設区間付近

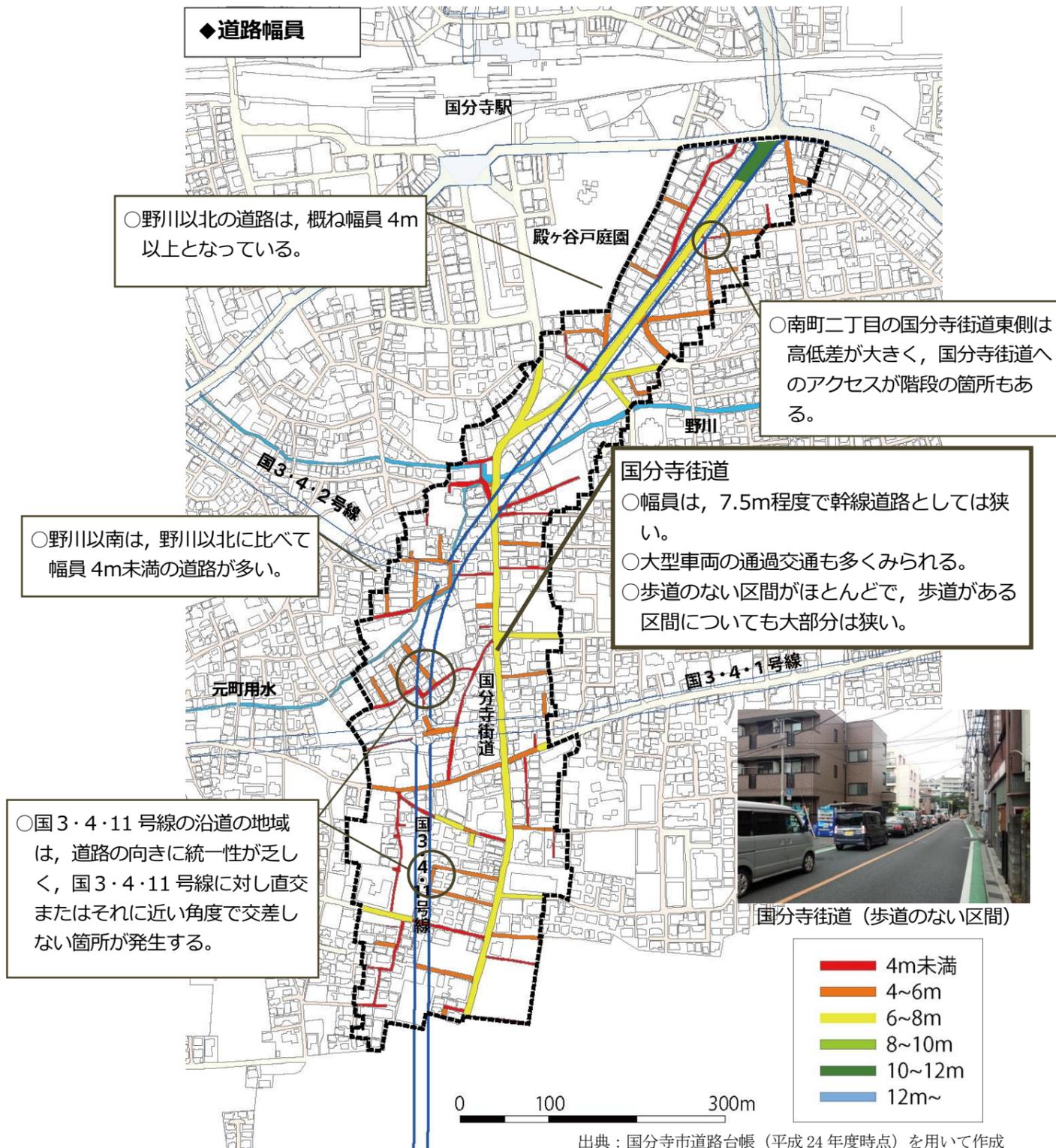


(3) 道路・交通の状況

①道路幅員，歩道

地区全体をみると，幅員が4m未満の道路が随所に残っており，災害時の危険性が懸念されます。

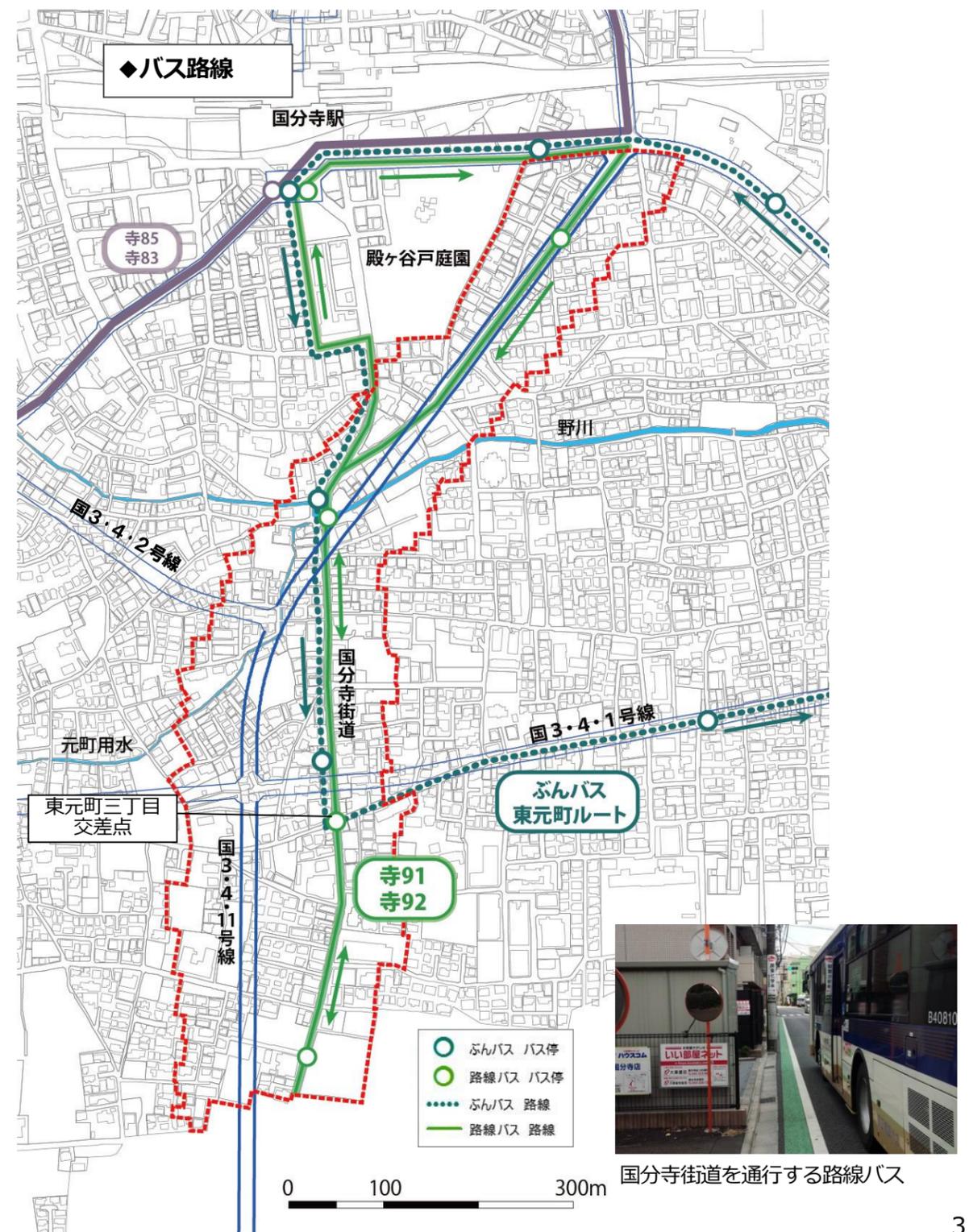
また，歩道のない道路が多い地域です。



②バス路線

国分寺街道は，国分寺駅と府中駅を結ぶバス路線（寺91・寺92）の運行ルートになっており，狭い路肩がバスの乗降の場となっています。

国分寺駅から東元町三丁目交差点までの区間は，ぶんバス東元町ルートが運行するルートにもなっています。



(4) 緑、地域資源の分布

地区の西側には、都立殿ヶ谷戸庭園、武蔵国分寺跡を含んだ公園・緑地、国分寺崖線上のまとまった樹林地、農地と屋敷林など、比較的緑豊かな地域が広がっており、推進地区は、国分寺駅と史跡エリアをつなぐ場所に位置しています。

